

熊本地震復興支援アドバイザー紹介登録事項

氏名	技術部門	選択科目	支援可能なメニュー(専門事項)	受付日
1 平原淳次	建設	港湾・空港	港湾・海岸構造物背後には、空洞・陥没穴が発生し、高波浪が作用すると舗装が浮上ります。災害対策の原則に則り、原形復旧すると災害原因の再構築になってしまいます。舗装と埋立土が高圧の流体に曖昧な蓋になっており、この事が原因で正反対の対策になっているのです。解析して流体を制御・排出すると、問題を解消できます。流体解析と流体制御・排出ブロックの設計を致します。空洞・陥没穴が発生する原因は、伝達波・越波・降水ではありますが、高波浪の作用、地震、大降水が引き金で発生します。	9月2日
2 上戸好美	金属材料	材料加工	地震土砂崩れ被災建造物プラントの余寿命評価耐久性評価と補修工法技術の支援、相談可能。防災士 建築施行管理士	9月5日
3 松雪清人	建設 応用理学 総合技術監理	河川砂防及び海岸 建設環境 地質 地質	斜面崩壊等の土砂災害危険個所に関する調査・危険度評価・対応策検討、住民説明 宅地や構造物の健全度評価及び対応策検討、住民説明 住民や児童・生徒に対する防災教育 市町村の地域防災計画策定支援	9月5日
4 佐藤光雄	総合技術監理 建設	土質及び基礎	技術者倫理、リスクマネジメント(危機管理含む)、土質及び基礎関連技術(擁壁、補強土、のり面・斜面安定、地盤改良)、土木構造物劣化診断(橋梁、トンネル他コンクリート構造物を中心として)	9月5日
5 勇 秀忠	建設	施工計画、 施工設備及び積算	コンクリート診断特に非破壊試験におけるコンクリート診断等及び施工計画など	9月6日
6 入江 徹	建設	施工計画、 施工設備及び積算	施工計画の立案及び策定、施工管理	9月7日
7 末松正典	機械 総合技術監理	精密機械	・機械工学分野に関する研究開発や企画、ものづくりに関する支援 ・管理技術である品質工学、信頼性工学や品質管理に関する助言・支援や指導 ・産学官連携プロジェクトなどに関する支援やアドバイス	9月12日
8 味澤泰夫	建設 総合技術監理	施工計画	36年間のゼネコン勤務で、多種多様な土木関連工事の計画・設計・実施工・施工管理(QCDS)・統括管理を経験してきました。特に大規模土工事とこれに付随する擁壁・カルバート・用排水路等の各種構造物・基礎工事・地盤改良工事及び防災工事、大規模土留壁等に代表される仮設工事を得意な分野としています。	9月12日
9 堤 博喜	建設部門	土質及び基礎	住宅の新築、建替え時地盤品質の相談、地盤調査、地盤補強、地震による液状化等の不同沈下等、沈下修正工事、曳家、嵩上げ	9月21日
10 持田拓児	建設	トンネル	地質及び地形的観点から、防災・減災に向けた地域住民や学生に対する支援活動	9月23日
11 田中孝一	森林	森林土木	① 治山、林道の災害復旧計画策定等(調査、測量、設計及び実施設計書作成) ② 荒廃森林の復旧計画策定 ③ 災害復旧事業(国庫負担、国庫補助事業、起債事業、その他)メニューの提案	9月24日
12 増村壽一	建設 総合技術監理	道路	道路計画策定、ルート選定、交通量推定、道路設計・施工管理・維持管理、コンクリート構造物診断、組織運営、人材育成	9月28日
13 長友光朗	建設	土地利用	土地・建物に関する包括的な復興支援業務(技術士・一級建築士・公認不動産コンサルティングマスターとしての土地・建物に関する調査・設計・監理業務、及び土地・建物に関する包括的有効利用計画の立案・設計業務)	9月28日
14 吉田紘彬	応用理学	地質・地下水	建物の基礎地盤・急傾斜斜面の崩壊や地すべり・地下水等の調査と対策	10月6日
15 津山 輝男	応用理学	地質	自然斜面・人工ノリ面安定性評価。建物基礎地盤に対する地質面からの評価。またこれらの問題対策アドバイス、検討。	10月11日

熊本地震復興支援アドバイザー紹介登録事項

	氏名	技術部門	選択科目	支援可能なメニュー(専門事項)	受付日
16	兼子健男	農業	農業土木	水田の基盤整備、用排水管理技術、均平技術、暗渠排水設計維持管理、浅水用水調節器の開発、道路横断暗渠・パイプラインの内視鏡調査	10月14日
17	関本郁夫	建設	土質及び基礎	宅地や商工業用地などに生じた地震災害の復旧に係る技術支援(スーパーゼネコン技術研究所～中央および地方の地盤コンサル勤務経験を生かし土質及び基礎に関する諸問題の解決糸口を助言します)	12月5日
18					
19					
20					
21					